

# COPD（慢性閉塞性肺疾患）

## ◆ COPD とは？

COPD とはタバコの煙などの有害な物質を長い間吸い続けることで起こる肺の病気です。空気の通り道である気道が炎症を起こしたり、酸素を取り込む肺胞の壁が壊れたりします。日本では40歳以上で約530万人以上の患者さんがいると言われており、珍しい病気ではありません。

## ◆ 症状は？

はじめの頃は咳や痰がみられる程度のため病気と認識されにくいですが、肺の機能の低下とともに動くと息切れするため、知らない間に階段を使わなくなったり、坂道を避けるようになります。重症になると、日常生活を送るためにいつも酸素吸入器が必要になり、さらに進行すると安静にしているときでも息切れするようになります。



## ◆ 原因は？

受動喫煙も含めて、タバコが最大の原因です。COPD 患者さんの約90%に喫煙歴があったと言われています。タバコ以外には、大気汚染、有機燃料を燃焼させた煙の吸入、職業性の粉塵や化学物質への暴露、呼吸器感染症や小児期の呼吸器疾患なども関係していると考えられています。



## ◆ 検査は？

スパイロメトリーと呼ばれる肺機能検査により、慢性的な炎症に伴う気流閉塞を生じているかどうかで診断されます。他には、胸部X線検査・CT検査などの画像診断を行ったりします。

## ◆ 禁煙しましょう！

**禁煙**

「COPD になってしまったから、もう禁煙しても意味がない…」と思う患者さんがいますが、早めに禁煙すると COPD の進行が緩やかになります。

**タバコをやめて COPD の  
進行を止めましょう!!!**